

注視行動分析を用いた工場作業者の技能評価と技能伝承に関する研究

このテーマのキーワード	注視行動分析、機械加工、機械検査、保全、工場作業者、技能伝承、技能評価
関連するSDGs開発目標	  

研究内容(社会背景・目的、概要、期待される効果)

(社会背景・目的)

技能の習熟度と注視行動には相関があり、これを利用した技能の評価法を確立し、技能伝承の要点を抽出しようとするものです。

(概要)

図1に示すような、アイカメラを装着した作業者の作業中の注視行動を記録します。図2は、記録された映像データで、熟練者と初心者の注視行動を比較することで、技能の評価方法を確立したり、作業の要点を抽出したりできます。特に熟練者が無意識のうちに行っている注視行動は、技能の伝承に大いに役立ちます。

(期待される効果)

作業者の技能評価が容易に行えるようになります。また、熟練者や指導者による作業中の注視行動分析のデータは、そのまま教材となり、適用範囲も広いと考えられます。



図1 注視行動の記録



図2 アイカメラの記録画面

想定される適用分野・用途・業界

- 技能の伝承が必要な製造現場をはじめ医療施設、高齢者施設など様々な分野で適応可能

産業界へのアピールポイント

- 技能伝承や技能の評価の時間短縮

情報メカトロニクス学科 武雄 靖 教授

このテーマに関するお問合せ ものづくり研究情報センター
E-mail : mric@iot.ac.jp TEL : 048-564-3880